

伝統芸能で魅せる  
続・名取寄席

# 藤原 実方

平安の歌詠み男子

10年間ご好評いただいた  
新・名取寄席シリーズが  
「続・名取寄席」として  
生まれ変わります！  
伝統芸能で地域の魅力を  
再発見する、名取ならではの  
新しい寄席が始まります。  
是非ご期待ください。



実方とは  
誰じゃ？



出演

浪曲  
玉川 奈々福  
曲師 沢村まみ

講談  
神田 織音



2024

2月10日 土

14:00開演  
13:30開場

会場 名取市文化会館  
小ホール

[チケット] 全席自由 シーパイン友の会 3,000円／一般 3,500円／学生(大学生以下) 1,500円

※学生席は名取市文化会館窓口にてお求めください。(要・学生証) ※未就学児入場不可

[チケット発売日] シーパイン友の会先行予約11月18日(土)9:00～ 一般 11月25日(土)10:00～

[プレイガイド] 名取市文化会館／名取駅コミュニティプラザ／藤崎／ローソンチケット(Lコード:22203)／チケットぴあ(Pコード:522-694)

[お問合せ] 名取市文化会館 TEL 022-384-8900(第1・3火曜日を除く9:00～18:00)

主催:公益財団法人名取市文化振興財団 後援:名取市／名取市教育委員会 協力:イオンモール名取 制作協力:古典空間



名取市文化会館

絵文字やスタンプで気持ちを伝え合う現代から遡ること1000年…

平安時代においては〈和歌〉こそ自己表現、そしてコミュニケーションの手段でした。

三十一文字にありったけの想いを込めて、恋愛、出世…人々は世の中を生き抜いたのです。

名取の地で最期を迎えた都人・藤原実方は、そんな和歌の達人だったのです。

今回は、講談と浪曲で藤原実方と和歌の魅力を紐解きます。

## 藤原実方と名取の縁…

愛島塩手には、「藤原実方の墓」と伝えられている墓標があります。

藤原実方は、平安時代の中頃に花山天皇・一条天皇に仕えた公家で、中古三十六歌仙の一人に数えられる人物です。

ある時、三蹟の一人に挙げられる藤原行成と殿上でいさかいを起し、一条天皇より「歌枕見てまいれ」と陸奥守に左遷され、後に名取の佐具叡神社での落馬がもととなって命を落しました。実方の悲運の死を哀悼し、西行法師や松尾芭蕉などの歌人が名取の地を訪れています。



名取市愛島にある藤原実方朝臣の墓

## プロフィール

### 浪曲師

#### 玉川 奈々福

神奈川県出身。1994年日本浪曲協会主宰三味線教室に参加。1995年二代目玉川福太郎入門。師の勧めにより、2001年より浪曲師としても活動。2004年「玉川福太郎の徹底天保水滸伝」全5回、2005年「玉川福太郎の浪曲英雄列伝」全5回をプロデュース。2006年芸名を美穂子から奈々福に改め名披露目。さまざまな浪曲イベントをプロデュースする他、自作の新作浪曲や、長編浪曲も手掛け、他ジャンルの芸能・音楽との交流も多岐にわたって行う。平成30年度文化庁文化交流使としてイタリア、スロベニア、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、キルギス、ウズベキスタンの七か国で、さらに中国、韓国、アメリカでも公演を行っている。第11回伊丹十三賞受賞。



### 講談師

#### 神田 織音

東京都出身。高校時代から俳優として演劇と向き合い約10年後の1999年神田香織に入門。2011年真打に昇進。古典講談は言うまでもなく、現代社会のさまざまな課題をテーマに、史実や取材を基に講談に仕立て、身近な話題として受けとめていただくための取り組みを続けている。高齢社会における「成年後見制度」、話題にしにくい「遺言・相続」、備えるべき防災など、また青春物や文芸物までその幅広いレパートリーは数知れない。落語会や地域寄席をはじめ、学校公演、ラジオ出演、企業のPRイベント等、「見てきたような嘘をつき」と言われる講談という話芸の特長を活かした幅広い活動を全国各地で行っている。講談協会所属。



### アクセス ▶▶▶

■仙台空港アクセス線「杜せきのした」駅より徒歩8分

■JR名取駅より徒歩17分

※タクシーをご利用の場合はJR名取駅が便利です。

※駐車場の収容台数には、限りがございます。公共交通機関をご利用になるか、できる限り乗り合わせてご来館くださいますよう、みなさまのご協力をお願いいたします。

### お問合せ ▶▶▶

名取市文化会館 TEL 022 (384) 8900

(第1・3火曜日を除く9:00～18:00)

公益財団法人名取市文化振興財団

〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田520番地

FAX 022 (384) 6684 <http://bunka.natori.or.jp/>



「名取市文化会館」

